

【久御山町】

校務 DX 計画

1. 趣旨

久御山町教育委員会においては、国の GIGA スクール構想に基づき、令和 3 年度から全ての小・中学校で 1 人 1 台端末（タブレット端末）と高速大容量の通信ネットワークの構築、クラウドサービスの積極的な活用など、新たな時代の変化に対応する ICT 環境を整備し、子どもたちの発達段階に応じた情報活用能力の育成や探究的な学習活動の充実などを進めてきました。

教職員においても、日常的に端末を活用した授業等を行い、ICT の効果的な利活用を進めて子ども 1 人ひとりに丁寧な指導や個別最適な学びの実現に向け支援に努めてきたところです。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められています。

そのため、保護者と学校との連絡ツールを導入したり、会議でのペーパーレス化などの業務改善を進めることで、教職員の働き方改革の一助として、今後も校務 DX に係る取組を進めることとします。

2. 本町における課題等について

「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果（文部科学省 令和 5 年 11 月実施）による本町の状況をふまえ、特に本町の課題と考える次の事項について、各学校と連携を図りながら校務 DX の推進を図っていく必要があります。

(1) 校務支援システムについて

○小中学校成績処理システム

○学校間のデータ連携

(2) GIGA 環境・汎用クラウドツールの一層の活用

全ての教職員には、GIGA 端末でのアカウントが付与されており、情報共有やオンライン研修・連絡等にクラウドサービスが活用できる環境にあります。

校務DX化チェックリストの結果に基づく本町の状況について、「教職員が作成した教材等をクラウド上で共有」や「職員会議等の資料をクラウド上で共有」など校内におけるクラウド活用は、多くの学校で行われています。また、保護者との連絡手段については、保護者用連絡ツールを導入しており、保護者からの欠席連絡および学校からのお知らせ等を配信し、利便性の向上に努めているところですが、今後学校便りの配信などの活用について検討を進めます。

(3) 情報セキュリティポリシーの更新

校務DX化チェックリストの結果に基づく本町の状況について「自治体セキュリティポリシーとは別に、教育情報セキュリティポリシーを教育委員会独自に策定しているか」の項目においては、令和3年に行った久御山町立小中学校情報セキュリティに関する指針を策定して以来、教育現場の現状に沿った教育情報セキュリティポリシーの見直しを検討している状況にあります。

今後、国の方向性や現状を的確に把握しながら、クラウド上のデータやサービスを活用することを前提として教育情報セキュリティポリシーの策定が必要ですが、学校において児童生徒に関する様々な情報を活用していることを踏まえ、児童生徒の取り扱い情報の多様性・多目的性を考慮した情報セキュリティ対策を講じていくことが重要であり、まずは教育現場の現状に見合った教育情報セキュリティポリシーが必要です。

3. 校務DXに向けた取組

上記課題等を踏まえ、校務DXに向けて次の通り取組を進めます。

(1) 校務支援システムについて

○小中学校成績処理システム

各小・中学校においては、京都府市町村教育情報化推進協議会の元、京都府統合型校務支援システムの共同調達を行っていますが、現システムにおいてはネットワーク分離型で運用しており、学習系と校務系との連携ができない現状を踏まえ、今後、各自治体の事例等を参考にしながら、ネットワークを統合したクラウド環境での校務の実施など、情報漏洩等のインシデントが発生しないことを最重要とした上で、FAXでのやり取り・押印の見直し・不合理な手入力作業の一層・アンケートのペーパーレス化など教職員が働きやすい環境の整備に向けて検討していく必要があ

ります。

○学校間のデータ連携

教職員の出張や紙での提出を軽減するため、各校の情報を共有のデータサーバを利用して、データの共有や、校務の引き継ぎや打ち合わせ等を行っています。また、オンライン会議の活用促進も進めています。

(2) GIGA 環境・汎用クラウドツールの一層の活用

教職員の業務の負担軽減を図るため、既存の支援システムの利活用について研修・実践するとともに、コミュニケーションツールを活用した児童生徒とのリアルタイムの連絡や学習状況の把握及び評価の充実、教職員間の情報共有等による校務の効率化をより一層推進します。

(3) 教育情報セキュリティポリシーの策定

クラウド活用を前提として、それに相応しいセキュリティレベルを確保する中で、データ利活用や個別最適な学びなど、新たな時代にふさわしい教育 DX の基盤を構築するため、教育現場の現状を踏まえ、情報資産を守り個人情報保護のもと「教育情報セキュリティポリシー」を策定します。